



# KTTCC NEWS

16号

2021年4月

外国人技能実習生と企業の未来を応援します

## ありがとう作文入賞者



ミヤツさん  
ミャンマー  
2019年6月入国  
電子機器組み立て

ミヤツさんは2回目の挑戦で優秀賞(上位2~5位)を受賞しました。日本にいる今、感謝したい相手は会社の人たちだと考え、「会社の人にありがとうございます」と題した作文を通して、3つの「ありがとう」を伝えていきます。

まずはすべての原点である、面接で選んでもらえたことに対する「ありがとう」。ミャンマーでは日本で技術を学びたいという人が増えてきており、合格によって大きなチャンスをつかむことができました。そのきっかけを与えてくれた会社への感謝の気持ちを綴っています。

次に、他の実習生たちへの「ありがとう」。自らを寡黙と評するミヤツさんは日本語も不得手で、来日当初はコミュニケーションに苦労したそう。国籍に関わりなく助けられたベトナム人の先輩や同僚に支えられ乗り越えることができました。いまや兄弟のような関係になった彼らへの感謝の思いがあらわれています。

最後に、日本人社員への「ありがとう」。技能検定試験の前に何度も指導して下さったこと、わかりやすい日本語で話してくださったことなど、感謝をすれば枚挙にいとまがありません。その中でも特に印象深かったのは、技能実習責任者である松本さんの指導でした。

「スムーズに作業を進めるにはどうしたらよいか」という松本さんの問いに対し、「メモを取る」と答えた実習生たち。しかし松本さんは、「今日自分が使う部品を素早く取れる場所に置いておく」との答え。この答えにミヤツさんは「きちんと準備をできない人は何をやっても失敗に終わる。」と思いを至りました。いったん立ち止まり、考える機会を与えてくれる「時々厳しい」松本さんへの感謝を記しています。

●ありがとう作文とは  
他監理団体と毎年共催している「ありがとう」をテーマとした実習生による日本語での作文コンクール。日本語力の向上だけでなく、伝えたい相手を思い浮かべることによって感謝力を養うことも目的。今年度の応募は1165作品。

「ありがとうございます。世界で技術について有名な国と言えば日本だと思います。母国でも日本に来て技術を学びたい人が増えてきました。その中に私も選んでチャンスが与えられた会社の方々と組合の皆さんにいつも感謝しております。」



原稿用紙3枚の中に、たくさん「ありがとう」を詰め込んだ今回の作品。ミャンマー語で下書きをし、辞書で言葉を調べながら一週間かけて丁寧に仕上げたものです。自信があったからか、結果を聞くのがとても楽しみだったそう。休憩時間には積極的に日本人に話しかけて日本語力を上げ、良好な人間関係を作り上げていたことが、今回の受賞につながりました。技能実習が終わった後のことについては、帰国するのか特定技能者となるのか、家族と相談しているところだというミヤツさん。どちらの道を選んだとしても、周りへの感謝の気持ちを忘れないでいてくれることを願っています。

## 入国後講習中実習生からの嬉しい差し入れバイソンチュン



バイソンチュンは、テト(旧正月)のお祝いには欠かせない、ベトナムの伝統的なちまきです。入国後講習中の実習生ヴァンさんとトウさんは、組合スタッフが差し入れた豚肉や青豆と、自分たちで購入したもち米を使い、10本のバイソンチュンを作りました。そしてそのうちの2本を、組合に差し入れてくれました。その心配りを変えて嬉しく思いました。素敵な実習生たちの心づくしに舌鼓を打ったことは言うまでもありません。

## トラブル事例 「他人の敷地内を通って通勤」

A社実習生寮の近隣住民より、「他人の敷地内を通っている実習生がいる」との指摘がありました。実習生に確認したところ、会社に届けている経路ではなく、近道となるその敷地内を通って通勤していたようでした。たんに「近道となる」程度では正当な理由とみなされず、罪に問われる可能性があります。また、万が一通勤によりケガ

をした場合に、この通勤が「合理的な経路及び方法」とされず労災保険の給付が受けられない可能性もあります。さらには、実習生に対する評判が悪くなり、近隣住民との良好な関係が維持できなくなってしまう可能性があります。当該実習生に対しては、特別な理由がない限り事前には届け出た通勤経路を守るよう、またやむを得ず他の経路での通勤を余儀なくされた場合にも他人の敷地には入らないよう指導しました。

## 工場見学で出会った実習生を紹介し(愛知県M社)



ヴィエンさん  
ベトナム  
2019年7月入国  
機械検査

M社では毎年、前年度の良かった点と反省すべき点から今年度の課題と目標を設定する「個人目標」シートを作成しています。ヴィエンさんは、①加工NGの多さ②後輩に教えることができなかった③日本語で上手に話せなかった、という3項目を反省点として挙げています。難しい品番を除けば、今年度は加工NGゼロ件を達成できる見通しだそうです。②と③については、今回の工場見学での様子からは達成が見込まれます。

実習と日本語学習の両方に目標を持って取り組むヴィエンさんは、プライベートも充実しているようです。休日には寮の仲間と料理やショッピングを楽しんでいるそう。寮には所狭しと靴や服が並べられており、これらを身に付けて週末を過ごすヴィエンさんたち実習生のはじける笑顔が目につきました。技術や日本語と共に、たぐさんの素敵な思い出を母国ベトナムへ持ち帰ってくださいね。

M社の工場見学に同行しました。この日の案内役は、2年目の実習生ヴィエンさん。ひとつひとつの作業を丁寧に説明してくれました。送り出し機関での半年間の講習中は、「真面目な態度で向上心を持って勉強している」と評価されていたヴィエンさん。実習開始後も毎晩1時間半の学習時間を確保し、約半年経過した2019年12月、日本語能力試験でN3(※)に合格しました。その後も学習を継続、現在は組合日本人スタッフと通訳無しで話ができるほどにまで成長しています。目指しているN2(※)はとも難しいですが、日本人ともっと話せるようになりたいという想いで頑張っています。

(※)日本語能力試験レベルN5(易)〜N1(難)の5段階。N1は通訳、N2は日本語でのディスカッションができるレベル。N3は日常会話には概ね問題がないと言われています。



### 反省すべき点

- ①加工NGが多くあった。
- ②できた品番は後輩にまだ教育できなかった。
- ③日本語でまだ上手に話せなかった。

## ～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。日本語教育、人間力向上教育、各種サポートは、受け入れ企業様にも好評を頂いております。「外国人技能実習制度を通し日本企業と諸外国の架け橋になりたい」「日本での経験により成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど・・・」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

Kansai Technical Cooperation Center  
協同組合関西技術協力センター  
一般監理団体/登録支援機関



本部外観



### 発行・お問い合わせ

大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号

名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオビルディング4F

広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F